

# レーザーがひらく未来

今回は、大阪大学で研究されている最先端のレーザー技術と、文化財分析への活用について、対面式とオンラインを併用してご紹介します。

同大学から3人の講師をお迎えして、下記講演をお願いします。

つきましては、日頃よりレーザー技術とその産業応用、新ビジネスの創出、産学連携に高い関心をお持ちの皆様に、ビジネスへのヒントとなりますようご案内申し上げます。

## ◆ 講演

### (1) 「人びとの過去の暮らしに先端科学の光をあてる

—総合知による文化財分析の新たな可能性—

講師：宮原 暁 氏 大阪大学 人文学研究科外国学専攻 教授(外国語学部フィリピン語専攻)

講演概要：人びとの過去の暮らしを伝える文化財や民具は、これまで人間を中心としたストーリーに即して解釈されてきました。そうした従来の見方を、モノそのものに向き合う視点にシフトすることで、これまで省みられてこなかった破片が人びとの暮らしを伝える貴重な文化財になることを、今回はご紹介します。

### (2) 「物質と反応のデザイン —地下 6000 km から太陽系外 100 光年まで—

講師：尾崎 典雅 氏 大阪大学 工学部 電気電子情報通信工学科 准教授

講演概要：光（レーザー）の力で、地球の中心 6000 km そして太陽系外 100 光年も遠方の惑星内部の世界さえ作り出すことができます。そこに広がる“新物質・新材料”はどのようにして得られるか？ また、その可能性や将来性などについて紹介します。

### (3) 「可視光レーザーが拓く新たな産業応用

—レーザー照明・ディスプレイから新農業応用まで—

講師：山本 和久 氏 大阪大学 レーザー科学研究所 教授

講演概要：可視光レーザーを用いたプロジェクタ、ヘッドアップディスプレイが商品化され、レーザーヘッドライトも実用化しています。可視光レーザーは広い色再現範囲を持つだけでなく、超小型、また高輝度・高効率化により超低消費電力化もねらえるという特徴もあり商品化が急加速しています。ここでは、レーザー照明・ディスプレイ（空中映像含む）に加え新農業応用を含めた可視光レーザー照射応用について紹介します。

## ◆ 質疑応答 連絡事項

日時：2022年12月1日（木） 13:20～16:40

会場：対面開催（大阪大学レーザー科学研究所 研究棟 I 棟 4 階大ホール・先着 30 名）  
および Zoom によるオンライン開催

参加費：無料

主催：大阪大学 レーザー科学研究所／りそな中小企業振興財団

共催：大阪大学 パワーレーザーフォーラム、光エレクトロニクスフォーラム  
レーザー学会、スマートパワーレーザー技術専門委員会